



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

前向きな表現の力

七夕ウィーク

7月7日は七夕。七夕というと、願い事を書いた短冊を笹竹に吊るしていくことが一般的かと思えます。本校では、今年度7月7日～9日まで、七夕ウィークを設けてクラス全員で考えたクラスの願い事と短冊に書いた一人一人の願い事を模造紙に貼り廊下に掲示しました。

「大きくなったらお医者さんになって、コロナの薬を開発して、みんなの喜ぶ顔がみたい」「小さい子たちが笑顔になれる保育士になれますように」「字をきれいに正しく書けますように」「みんなが幸せに暮らせますように」「みんなが元気に登校できますように」等、どれも素晴らしく、夢や希望、よりよい成長を願うもの、家族や友達の幸せを願うものに満ち溢れていました。一人一人の短冊に目を通させていただき、心が温かくなりましたし、共に祈りたい気持ちになりました。

前向きな思いをもって表現された言葉は表現した人自身の力になるだけでなく、それを目や耳にした人にも力を与えていくものだと思います。

素敵な七夕ウィークとなりました。

仲間と共に積み重なっていく力

日帰り林間学校

7月7日(水)に、相模原市の施設である「やませみ」に5年生全員で日帰り林間学校に行きました。その時の様子を紹介します。

「一生心に残るような みんなが笑顔で楽しめるキャンプにしよう!!」という目標のもと、日帰り林間学校を行いました。

挨拶、返事、話を聴く態度、活動の切り替えの早さ、仲間を思いやる気持ち等、どれも素晴らしいものばかりでした。私自身5年生全体と一日日程で行動を共にするのは初めてのことでしたが、5年生の力に感心いたしました。

施設の方からも、たくさん褒めていただきました。竹はしづくりをしている中では活動に不安そうな友達に、「大丈夫だよ。安心して一緒にやろう。」と優しく声かけをしている友達の姿があり、仲間を思う態度が素晴らしいとの話をいただきました。竹はしづくりの指導だけでなく、子供同士の関わりも丁寧に見てくださり大変有難く思いました。

今回の活動の中で見せた力は、一日でできるものではなく、今まで育ててきた力が活動の中で姿を表したのだと思います。また今回の活動を通して、新たに気づいた自分の力や新たに見出した友達の良さを自分の中に取り入れて、今後の生活に活かしてほしいと思っています。

退所式の中で、「みんなが楽しそうにしている自分も楽しくなった。」という子供の感想がありました。仲間がいるからこそ感じる事ができるものがたくさんあったのだらうと思います。子供の感想を聴き、新たな自分への気づきも仲間の存在があってこそ引き出されるのではないかと思います。

全員で活動できたことに感謝です。